

一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問したりすることをいいます。（※質問者順に掲載）

質問 放課後児童クラブに関する2つの新規事業の概要は。
答弁 学校長期休業期間一時預かり促進事業補助金は、長期休業中に児童を受け入れたクラブに対し補助金を支給するもので、他の小学校区の児童を受け入れた場合は補助金の額を2倍にしている。高学年児童受入促進事業補助金は、高学年児童を10人以上追加で受け入れた場合に、施設の拡充整備等に上限150万円、支援員2人以上の増員に上限50万円を支給するものである。
質問 高崎スマート・C産業団地A・B地区に対する支援規模と今後のスケジュールは。
答弁 現時点では、初期投資と運営管理に対して約35億円、A・B地区の連絡橋の整備に約8億円を見込んでいます。今後の予定は、令和7年度中に設計業務、その後建設工事に着手し、令和9年度中の完成を目指していると伺っている。

質問 文化財は保存と活用との両輪により文化財保護につながると考える。上野三碑を地域の宝として守り、活用していくための取り組みは。
答弁 本市では、県や関係する団体・個人と共に上野三碑普及推進会議を組織し、官民一体で保護・普及を推進している。また、民間ボランティア団体とも連携し、上野三碑の活用に取り組んでいる。令和8年2月には、金井沢碑建立1300年を迎えるため、記念事業を計画している。
質問 上野三碑周辺の遺跡保存のための発掘調査の状況は。
答弁 多胡碑周辺遺跡は、平成23年度から発掘調査を開始し、令和2年に上野国多胡郡正倉跡として国指定史跡となった。また、令和5年に市指定史跡となった山ノ上西古墳については、令和7年度から国の補助を受け、発掘調査を予定している。

質問 避難所の混雑状況をリアルタイムで周知し、空いている避難所に誘導することの必要性について本市の考えは。
答弁 避難所の混雑や空き状況の周知は、避難者の安全と快適な生活を確保するために重要と認識しているが、適切な情報を提供する仕組みや体制を整備する必要があることから、既に導入している他市の事例等を参考に研究したい。
質問 指定避難所の非常用電源や発電機等の整備状況は。
答弁 主な避難所85カ所にカセットボンベやガソリンで動く発電機を配備している。各避難所にはカセットボンベ20本を配備しており、約10時間の稼働が可能となっているほか、災害時応援協定を締結している団体等からのガソリンの提供も想定している。また、令和6年度に3台購入した電気自動車も可動式電源として活用することもできる。

質問 農家数が減少し、自治体は耕作放棄地の解消などに努めているが、耕作していない農地の利活用への規制について、市はどう考えるか。
答弁 食料の安定的な供給のためには、生産の基盤である農地を良好な状態で確保することが重要であり、農業振興地域制度と農地転用許可制度によりその確保と適正利用が図られている。しかし、国内の農地面積が減少し続けていることから、農地確保のためのさまざまな施策が実施されている。その一つが令和6年度末の策定が求められている地域計画である。地域農業の将来の在り方と農地の将来利用者を定めた目標地図からなる市町村計画であり、計画策定後は、計画範囲内にある農地の利用について関係者による協議が行われる。このような取り組みを通じ、今後も農地の確保に取り組んでいく。

総括質疑

新年度予算や市長の施政方針に対して、各会派の代表者が総括質疑を行いました。
 ※QRコードから録画映像をご覧ください。

新風会



質疑 令和7年度予算の特徴と編成に当たり重視した点は。
答弁 人件費や物価の高騰に直面する中、学校給食費一部無償化の開始や、児童相談所の開所に向けた人員増などが予定されていることを踏まえ、事務的経費等を削減するとともに、各課定員・職員配置の見直しを行った。
 歳出では、市内経済の活性化など高崎の発展と活力を持続させる政策に引き続き重点的に取り組むと同時に、子ども・子育てや教育施策、高齢者の安心・安全施策に手厚く配分した手堅い予算編成ができたものと考えている。
質疑 箕郷多目的運動場（仮称）の整備状況と今後のスケジュールは。
答弁 箕郷多目的運動場（仮称）は、令和5年度から着手しており、これまでに整備予定地の測量や地質調査、運動場整備に係る実施設計等を行ってきた。令和7年度からは造成工事や本体工事等に着手

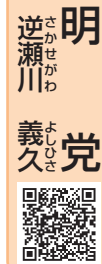
し、幅広い市民が利用でき、地域の防災拠点としての役割を果たす施設となるよう整備を進めていく。

市民クラブ



質疑 令和7年度に新設する放課後児童クラブ支援課では、どんなことを行うのか。
答弁 本市では、これまでも多くの児童が利用できるような各クラブと連携を図って対応してきた。しかし、共働き世帯やひとり親世帯の増加によって放課後児童クラブの利用ニーズが高まっていることに加え、運営に携わる保護者の負担の増大や施設・支援員の不足等、各クラブが課題を抱えており、これらに対し重点的に対応するため、新たな課を設置し、運営形態や課題に応じた効果的な支援を実施していくものである。

公明党



質疑 令和7年度に大幅に拡充する学校体育館への空調設備について、設置の考え方は。

また、学校給食室への空調設備の設置も倍増となるが、現在の設置状況は。

答弁 学校活動における熱中症等の健康被害対策と避難所の環境改善のため、令和4年度から学校体育館への空調設備の設置を順次進めており、令和7年度は中学校10校への設置を予定している。また、学校給食室の空調設備は、令和7年度に8校設置予定で、これにより進捗率は全体の59%となる見込みである。

たかさき未来

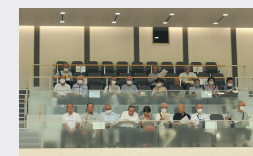


質疑 高校生の通学手段として、防犯や交通安全の観点からも公共交通利用の要望が大きくなると思うが、新年度の利用促進の取り組みは。
答弁 物価高騰による子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和7年度から高校生等通学支援事業の1カ月当たりの控除額を2万円から1万5千円に引き下げる。このことで補助対象者の拡大につながり、公共交通機関の利用促進に寄与すると考えている。

議会をしてみよう

傍聴席で

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会棟5階にある傍聴受付で住所・氏名を記入して入場してください。
 傍聴席は、車いす用の2席を含め78席あります。
 ぜひお出かけください。



インターネットで

本会議の様様をライブ中継や録画配信しています。市議会ホームページの「議会中継・会議録検索システム」からアクセスしてご覧ください。
 スマートフォンやタブレット端末からもご利用いただけます。

